

(1) 「現行高等学校学習指導要領解説数学編」から

国際調査での課題, 教育基本法改正等を踏まえ, 「生きる力」の理念等を基本とした中教審答申を基に改訂された. 数学的活動の一層の充実等を基本方針とし, 数Ⅰ等に課題学習を位置づけ, 数Ⅲの拡大, 数学活用の設置等を特徴とする.

- ・国際調査での課題は, 読解力問題・知識等の活用問題等, 学習意欲・学習習慣, 自信欠如等
- ・中教審答申は, 改正教育基本法等を踏まえ, 「生きる力」, 基礎・基本の知識等の習得, 思考力等の育成, 授業時数の確保, 学習意欲の向上等, 豊かな心等の指導の充実を基本
- ・改善の基本は, 基礎・基本を確実に身に付け思考力等を育て学ぶ意欲の向上, 系統性とスパイラルの重視, 思考力等育成の指導内容等の例示, 意義・有用性の実感, 活動・課題学習の位置付
- ・Ⅰは基礎的知識等とその活用能力の定着, Ⅱは数学的資質等の伸長, Ⅲはより深い学習
- ・A,B は内容選択履修, 数学活用は数学基礎の発展, Ⅰ,A に課題学習, Ⅰ,Ⅱ,Ⅲの順, A,B とⅠの順

(2) 「前回解説との対照」

学校5日制の下, ゆとりの中で特色ある教育活動による生きる力の育成を基本とした中教審答申を基に改訂された. 総合的な学習の時間, 教科情報の新設等による単位の縮減, 系統性と生徒選択の多様性の配慮, 中学数学からの相当の移行事項等を特徴とする.

- ・豊かな人間性, 個性重視が時代的特徴
- ・中教審第一次答申は, 教育内容厳選, 基礎基本徹底, 個性重視, 総合的な学習, 5日制を提言
- ・最終答申は, 豊かな人間性等の育成, 自ら学び考える力の育成, 特色ある学校づくりを提言
- ・改善の基本は, 基礎的な知識等の習得, 創造性の基礎の培い, 数理的処理等のよさの認知, 活用する態度の育成で, 実際の事象と関連させ, 課題の発見・解決の活動により楽しさ等のある学習推進
- ・Ⅰは基礎的知識等の習得と活用能力の身に付け, Ⅱは系統性への配慮とゆとりある学習, Ⅲは深い学習への配慮, A は具体的事象の数学的処理の基礎の身に付け, B,C は内容選択履修

(3) 黒木哲徳「新高等学校学習指導要領について」から長所・短所

数Ⅰ共通履修はよいが, 指導要領はミニマムエッセンスだから教員次第. 好ましいあり方検討の必要

- ・数学活用に遊び取入はよいが, 学ぶ価値向上に不安
- ・統計的内容はよいが, 連続型確率分布は大変難
- ・数Ⅲはやりすぎではないが消化不良の危惧.

(4) 自分の意見

現行の指導要領改訂は, 好意的に受け止められている. 前回のゆとり, 厳選, 時間減の批判も大きい

- ・ネットで見ても, 前回の改訂への批判がいまだに多いが, 今回の改訂への批判は少ない.
- ・前回の改定は, 途中で実質再改定があった.

(5) 出典(文献名、url 等)

文部科学省(2009). 「高等学校学習指導要領解説数学編」. 実教出版.

文部省(1999). 「高等学校学習指導要領解説数学編」. 実教出版.

黒木哲徳(2009). 「新高等学校学習指導要領について」. 『数研通信 65 号』. 数研出版.